

各イベント開催内容

8/17

2024地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ

と き 8月17日(日) 13:00~17:00
と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島
主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
共 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-625-8387
参加費 無料
参加人数 約110名



概 要

今年で第7回目を迎える夏の恒例イベント、「2024 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ」が、8月17日(土)、ヒューマンわーくぴあ徳島にて開催されました。

「県民と働く者のとくしまフェスタ」の一環として「地域の支え合い」「家族の絆」をテーマに、労働者福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもと様々な子ども向けイベントが行われ、地域の方や親子連れなど約110名が来館しました。

陶芸教室では、スタッフの指導のもと陶器カップを作り、出来栄えに大変満足そうにしていました。絵手紙教室では、新鮮な野菜、果物をモチーフに、保護者の方も一緒になって絵筆を走らせていました。親子撮影会は毎年定員オーバーとなる人気コーナーで、今年は32組の親子がポーズを決めてカメラに向かいました。また今年は木工教室に代わってマクラメ編み教室を行いました。マクラメとはアラビア語源で「交差して結ぶ」の意。麻紐を丁寧に編んで、ハンギングプランターやタペストリーを作りました。その他、バルーンアート、懐かしのゲームコーナー、小物販売や軽食コーナーなどがフェスタを彩り、子ども達の夏休みの思い出となりました。



8/14

あい♡あいファミサポフェスティバル2024 防災運動会

と き 8月24日(土) 午前の部10:00~11:30 午後の部13:30~15:00
と ころ 徳島市南末広町23-64 ろうきんホール
主 催 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
共 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-693-3033
参加費 無料

参加人数 251名

概要 8月24日の土曜日、ろうきんホールにてあい♥あいファミサポフェスティバル防災運動会が開催されました。午前・午後の二部制で71組251人の親子が参加しました。

防災用品を探す競争や木の棒や衣服で簡易担架を作り、人形を運ぶレスキューリレーなど6種目の競技を行い、子供から大人まで楽しみながら学ぶ機会となりました。

防災に関する知識を高めることができたとの声をたくさんいただきました。



10/25

2024「たんけんの秋」

とき 10月25日（金）8:50～17:00

ところ 上勝町・勝浦町

主催 徳島県退職者連合

共催 四国労働金庫

問合せ先 ☎088-655-4105

参加費 2,000円

参加人数 26名

概要

徳島県退職者連合は、「県民と働く者のとくしまフェスタ2024」行事の一環として今年も「たんけんの秋」を計画しました。高齢者は、年を重ねる毎に運動する機会が少なくなります。近年、フレイルの進行が大きな問題として取り上げられるようになりなした。退職者連合は、これまでも健康第一として「生き生きと安心して暮らせる社会」を合い言葉に運動を展開してきました。

今年も「彩りの町上勝町」の山里を「ゆとりとうるおい」をもって散策、秋の一日を楽しく過ごすことにしました。当日は、天候にも恵まれて8時50分徳島駅前を出発し、途中で道の駅「ひなの里かつうら」で休憩し、上勝町をめざしました。10時30分過ぎに月ヶ谷温泉に到着しました。昼食までの間に各々が周辺の散策を楽しんだり、「いろどり橋」（吊り橋で長さ62m、高さ15m）を渡ったりしました。橋から勝浦川の清流やようやく色づき始めた紅葉が眼下に見られました。

参加者全員での昼食後は、希望者が山犬嶽登山や百間滝周辺の散策と「カラオケ大会」の3班に分かれて楽しみました。

岩石がまさに山犬が口を開いたような表情に似ていることからと呼ばれている山犬嶽（標高1,740m）は、山中に色々な苔が自生しており、近年その美しさに魅かれて登山者が増えています。

百間滝は滝つぼまで遊歩道が整備されており、目の前で見ることのできる落差30m滝は迫力満点で、たっぷり「マイナスイオン」を浴びて元気もらいました。

参加者からは、本当に楽しい1日を過ごす事ができたという感想や、登山は大変きつかったが思い切り身体を動かしたりフレッシュ出来本当に良かったという感謝の言葉をいただきました。来年も是非実施して欲しいとの希望も多く寄せられました。

徳島県退職者連合は、「たんけんの秋」の実施結果を検証し次回の実施につなげて行きたいと思っています。



県民と働く者のとくしまフェスタ2024開会式典&第32回労働者福祉メーデー

と き 11月1日(土) 16:00~18:00

と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島

主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

問合せ先 ☎088-625-8387

参加費 無料

参加人数 36名

概 要

開会式典は、森本佳広実行委員長の主催者挨拶に続き、井口貴弘生活環境部労働雇用政策課長をはじめ、後藤正徳島労働局雇用環境・均等



室長、勝浦里美德島市経済部経済政策課課長、脇田亮徳島県経営者協会専務理事からご来賓挨拶をいただきました。そのあと島和久連合徳島会長より開会宣言を行い、引き続き第32回労働者福祉メーデー(労働者福祉合同研修会)が行われました。冒頭、県民と働く者のとくしまフェスタ2024実行委員会の森本実行委員長より、『県民と働く者のとくしまフェスタ』は、勤労者の余暇推進を目的に長年取り組んできた労福協の基幹事業の一つであります。その中で労働者福祉メーデーは労働者の祭典として実施し、今回で第32回を数えることとなりました。これまでは格差と貧困の問題や働き方改革、女性の人権、SDGsなど、多岐にわたるテーマで開催してきました。今回は高等教育費とりわけ奨学金返済の問題について、中央労福協の南部美智代事務局長にご講演をお願いしているところであります」と挨拶がありました。

次に、労福協の梶本一夫専務理事より2025年度労働者福祉に関する重点課題について報告がありました。その中で、「生活困窮者自立支援制度の拡充・体制整備」と、「給付型奨学金制度の導入・拡充そして教育費負担の軽減」について、そして「労働者自主福祉事業の一層の推進」についての3点を重点課題として据えました。引き続き梶本専務理事が『メーデー宣言(案)』を読み上げ、一同拍手をもって採択されました。

さて基調講演は、学費の高騰などから近年社会問題となっており、労福協の政策制度要求の一つにも掲げられている教育費をテーマとして、「高等教育費、奨学金返済の負担軽減のために私たちにできること！」と題して、労働者福祉中央協議会の南部事務局長



主催者挨拶



開会宣言



[来賓]



徳島県 井口 貴弘 生活環境部 労働雇用政策課長
徳島労働局 後藤 正 雇用環境・均等室長
徳島市 勝浦 里美 経済部副部長
徳島県経営者協会 脇田 亮専務理事



に約1時間のご講演をして頂きました。

講演では、まず労福協の歩みと様々な制度要求について振り返り、それに重ね合わせるように公的奨学金制度の歴史を解説されました。

「奨学金制度改善・教育費負担軽減」運動は2015年からスタートし、コロナ禍での活動を経て、現在は第3期目であることや、授業料の高騰と奨学金返済の負担などの実態を明らかにされました。

最後に、社会経済における協同組合の役割と期待、SDGs、そして労福協2030ビジョンに言及され、講演を締めくくりました。



11/2

第17回わーくぴあフェスタ

と き 11月2日(土) 10:00~14:30

と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島

主 催 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会

問合せ先 ☎088-625-8387

参加費 無料

参加人数 54名

概 要 今年で第17回目を迎える「わーくぴあフェスタ(うたごえ発表会)」が、11月2日(土)、ヒューマンわーくぴあ徳島にて開催され、36組の方々が、この日のためにと趣向を凝らした衣装に身を包み、練習を重ねた歌の数々を思いを込めて熱唱され、50人程の観客から大きな拍手を浴びました。

参加者の皆様のアンケートからは、「毎回楽しく過ごさせていただいています「これからもこのイベントが続きますように」など、主催者冥利に尽きるうれしい感想をいただきました。



🗨️ 開会挨拶



🏆 表彰式



🗨️ 閉会挨拶



11/9

キウイ収穫体験祭り

と き 11月9日(土) 10:00~12:00

と ころ 佐那河内果樹オーナー園

主催 徳島中央ライフサポートセンター
協賛 県民と働く者のとくしま実行委員会、(公社)徳島県労働者福祉協議会
四国労働金庫徳島営業本部
問合せ先 ☎088-623-4105
参加費 一人500円
参加者 138名(幼児、スタッフ含む)
概要 「県民と働く者のとくしまフェスタ2024」の一環として、県民の方々が家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を実施しました。9月24日(火)から10月11日(金)まで徳島中央ライフサポートセンターのホームページや構成組織からの広報を実施し、メールやファックスで参加者の募集を行った結果、募集人員50グループ150名のところ155グループと多数の応募がありました。

11月9日(土)の当日は、素晴らしい秋晴れに恵まれ、スタッフを含め138名と多くの方に参加をいただきました。

小さな子どもたちも一生懸命キウイを収穫し、籠が一杯になると神社に持ち帰り、ビニール袋にキウイをどんどん詰めます。今年は、持ち帰りのキウイをひとり25個としましたが、昨年より実が大ぶりだったので、ほとんどの方が袋いっぱい詰めることができました。

当日、収穫したキウイは硬くて食べられないので、果樹オーナー園の方が用意していただいた、試食用のキウイを美味しくいただきました。

なお、事務局が収穫したキウイは11月18日(月)に、シングルマザーを支援する「女性グループ・すいーぷ」と子どもへのあらゆる暴力をなくすための活動を行う「CAPとくしま」に寄付させていただきました。今回は、物価高騰が影響したのか、例年以上に参加者が持ち帰る量が多く、恒例の各種団体への寄付は実施することが出来ませんでした。



11/10

ゆとり・癒しのウォーキング ―妖怪伝説と紅葉の大歩危峡めぐり―

とき 11月10日(日) 8:30~14:30
ところ 三好市山城町
主催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会、徳島西部ライフサポートセンター
共催 連合徳島西部地域協議会・徳島県退職者連合西部地域協議会
こくみん共済coop 徳島推進本部・四国労働金庫池田支店
協力 三好市
問合せ先 ☎0883-72-8611
参加費 無料

参加人数 30名

概要 県民と働く者のとくしまフェスタ2024の一環として、西部地区において「第18回ゆとり・癒しのウォーキング～妖怪伝説と紅葉の大歩危めぐり～」を開催しました。今年はコースを変更し、藤の里公園～道の駅大歩危～三好林業センターまでの約6kmのウォーキングとなりました。

天気予報では雨でしたが直前で晴れに変わり、当日は山々の間から青空も見え、昨年とは打って変わっての大変暖かいウォーキング日和の一日となりました。

当日は阿波池田バスターミナルに集合し、2班にわかれて出発しました。藤の里公園から道の駅大歩危までは、地元のガイドさんに妖怪の話を詳しく教えてもらいながらウォーキングしました。初めて聞く話に「勉強になり、すごくよかった」「教えてもらったことを孫に伝えたい」と参加者の方々から感想がいただけました。子どもさんには写真ウォークラリーを開催。所々で出会える妖怪の写真を撮影してもらい、道の駅大歩危で参加賞を渡しました。

道の駅大歩危からは各自自由に散策してもらいました。ゴールの三好林業センターまでにはレストランまんなかやWESTWESTなどがあり、秋のイベントも行われていて、賑わっていました。今年の秋はまだまだ暖かく、紅葉は残念ながら見る事ができませんでしたが、無事に終了しました。



11/30

第29回自然とふれあう健康ウォーク in 美波

とき 11月30日(土) 9:00~12:00

ところ 竜宮公園(美波町)

主催 県民と働く者のとくしまフェスタ2024実行委員会、徳島南部ライフサポートセンター

共催 こくみん共済coop 徳島推進本部、四国労金阿南支店、連合徳島南部地域協議会

協力 徳島県退職者連合南部地域協議会

参加費 無料

参加人数 250名

概要 ●健康ウォーク ①千羽海崖を望む四国のみちコース(約3.5キロ)



●ぼうさいカフェ ①防災グッズ・非常食の展示、試食など

②防災パネル展示



- ふれあいゲーム ①宝探しゲーム
- 抽選大会



今年も秋晴れの下、幼児から高齢の方までおよそ250人の方々に参加していただきました。
ゆったりとした休日の時間を家族や友人、職場の人たちと一緒に楽しい時間を過ごしました♪

2025/3/22(土)～3/23(日)

2025Syuntoふれあいファミリーデー連合徳島親子スプリングキャンプ

- と き 2025年3月22日(土)23日(日)
- と ころ 海陽町「まぜのおかオートキャンプ場」
- 主 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会 連合徳島
- 問合せ先 ☎088-655-4105
- 参加費 無料
- 参加人数 68名

概 要

連合徳島は、2025年3月22, 23日の2日間、海陽町の「まぜのおかオートキャンプ場」にて、県民と働く者の徳島フェスタ2024として2025Syuntoふれあいファミリーデー連合徳島親子スプリングキャンプを開催し、連合徳島各構成組織組合員およびその家族や友人計68人が参加し、交流を深めるとともに自然の大切さを学習しました。

まず、11時から連合徳島3地協合同防災植樹に参加し、キャンプ参加者及び植樹参加者合わせて約100人で200本の黒松を塩害被害のあった大里松原海岸に植樹を行いました。

植樹を終えてキャンプの参加者はまぜのおかオートキャンプ場へ移動をし、昼食を取りました。

午後からはあらためて連合徳島親子スプリングキャンプの開会式を行い、主催者を代



表して連合徳島・島会長から挨拶があり、キャンプ中の注意事項やスケジュールの説明を行いました。

昼のイベント①「お話し」では、大里集落の斎藤さんから午前中植樹をした場所である「大里松原の歴史」について、「大里海岸は、大昔より大津波と侵食の繰り返しにより出来た海岸で、昔から地域の生活と命を守ってくれた大切な松原でしたが、松くい虫の被害と台風による高波の影響で、多くの松林が枯れてしまいました。蘇生するために連合徳島さんにも協力をいただきながら一生懸命植樹に取り組んでいます。」と説明がありました。また、昨年上陸したウミガメが卵を産んだが残念ながら孵化することはなかったが今後期待していることも併せて報告がありました。



昼のイベント②「木工教室」では、まず全員で記念撮影を行い、大里集落の皆さんの指導のもと、親子で協力して竹にドリルで様々な模様の穴をあけて竹灯籠を完成させました。夕食はバーベキューをし、参加者と大里集落の皆さんも一緒に盛り上がりました。バーベキューの合間で各家族に必ず当たる大人向けの景品の抽選会と、子どもたちはバケツにお菓子の詰め放題を行い、こちらも盛大に盛り上がりました。

2日目は朝食をとり、各自コテージの片付けを済ませ、親子スプリングキャンプを終わりました。

タイトなスケジュールではありましたが大里集落の皆さんや多くの関係者にご協力をいただいたことに感謝します。



11月17日(日)は家族の日

11月10日(日)～23日(土)は家族の週間